

【帯同審判における注意事項】

港区バスケットボール連盟

〈試合開始前〉

- ①レフェリー・カットター・笛の準備
- ②TO,フロアキーパーのスタンバイ確認
- ③試合球の要求と、スタメン申告&サイン
- ④3分前・1分30秒前のコールとシグナル
- ⑤相方レフェリー・TOとのコミュニケーション
- ⑥両チームのユニフォーム確認（男子は上着裾をバスパンの中に入れます）

〈ゲーム中〉

- ⑦笛は強く鋭く短く吹く事（必要、状況に応じて笛の吹き分けが出来れば、尚望ましい）
- ⑧会場全体に分かるように的確なシグナルを出します。
（ファウル、バイオレーション、選手交代、チャージドタイムアウト、得点、3Pなど）
- ⑨特にファウルの発生時は的確に一連の動作を行います。
即ち、笛・挙手を同時に行い、ファウルの種類を示してから TO に近づいて伝達・報告をし、プレーの再開方法を明確にシグナルで示します。尚、この際約束に応じてリードとトレイルを交代します。
- ⑩《リード》
 - a ボールから目を切らずにフロントコートへ向かう。
 - b エンドラインの外では状況に応じて左右に動いて位置取りをします。
- ⑪《トレイル》
 - c フロントコートでの深い立ち位置の確保
- ⑫ピリオド間、ハーフタイム、チャージドタイムアウトなどの時には相方レフェリー・TOとコミュニケーションを取り、得点・ファウル数などを確認します。
昨今、背番号だけで選手名の記入の無いものや各ピリオドの得点・総得点が無記入のスコアシートが散見されます。試合の前後と共にこうしたインターバル時にチェックし、スコラーに促します。

〈試合終了後〉

- ⑬得点確認後に勝利チームをコール
- ⑭試合球の返還
- ⑮スコアシートの確認とサイン
- ⑯スコアシート4枚綴りのうち、2枚はそれぞれの対戦チームに渡し、残る2枚は大会本部席に提出。